2021年度

枚方市立第四中学校 3年3学期シラバス集

進路指導部

1. はじめに

大阪府では、各評価が<u>目標に準拠した評価(絶対評価)で行われています</u>。これに伴い、評価の規準 についてもより明確になっています。

2. 通知票及び調査書の評価基準について

各科目(国語・社会・数学・理科・音楽・保健体育・美術・技術家庭・外国語の 9 教科)について、3観点があります。

各教科それぞれ3観点について、A,B,C の評価をつけ、その観点別評価【表 1】から、教科として 5 段階評価(5、4、3、2、1)の総合評定【表2】をつけます。

それぞれの評価基準については、次の表に記します。なお、この評価は、<u>枚方市内統一の評価基準</u>となります。

【表 1】

観点別評価		目標到達度
Α	十分満足できる	75%以上
В	おおむね満足できる	40%以上
С	努力を要する	40%未満

※表1の観点別評価を、A…3点、B…2点、C…1点に換算し、下の表2に当てはめます。

【表 2】

総合評	総合評定		目標到達度
5	十分満足できるもののうち、特に程度が高い	9点	85%以上
4	十分満足できる	8点以上	75%以上
3	おおむね満足できる	5点以上	40%以上
2	努力を要する	3点以上	
1	一層努力を要する	3点	20%未満

^{(「}観点評価合計」と「目標到達度」の両方を満たすことが必要になります。)

※表1と表2を総合的に判定しますので、例えば<u>観点別評価「AAA」の生徒であっても、総合評定「5」が</u>つく場合と「4」がつく場合があります。

3. 調査書対象学年について

平成30年度入試以降は入学時よりの成績が対象となっています。

入試	対象学年	比率
平成30年度入試以降 (現1~3年生)	第1学年~第3学年	(第1学年:第2学年:第3学年 =1:1:3)

「絶対評価」とは、学習指導要領に示す目標をどの程度達成できたか、達成状況を見るための評価です。個人の努力がそのまま反映されますので、本校では、各教科シラバスを作成し、授業や提出物、テストなどの生徒の日常の頑張りを評価していきます。

毎回の授業を大切にし、毎日の学習にしっかり取り組んで、自分の力をどんどん伸ばして欲しいと思います。

※シラバスは、現時点での予定を示したものです。従って、授業の進度等により、多少変更する場合もあります。

国語【3年3学期】

教材の種類・単元名	到達目標
小説:「故郷」	・場面や登場人物の設定を捉え、内容を理解する。
	・「私」と「閏土」の言動や姿から、人間とそれをとりまく社会につい
	て考える。
論説:「文殊の知恵」の時代	・文章を読んで、これからの社会について考えて自分の意見を持
	つ。
	・自分の知識や経験などと照らし合わせながら内容を理解する。
論説:「情報社会を生きる	・文章中における語句の効果的な使い方をとらえる。
――メディア・リテラシー」	・文章の構成や表現の仕方について読み取る。
「中学校生活を振り返って」	・感銘を受けたことば、励まされたことば、心に残った作品などを集
作品作り	めて三年間を振り返る。
漢字:漢字ノート	・既習漢字の定着をはかる。
	・入試によく出る漢字の練習をする。
古典・白プリント	・さまざまな問題に取り組み、さらなる実力をつける。

観点別学習状況の評価対象と内容	!	
知識·技能	(30%)	定期テスト等
思考·判断·表現	(30%)	定期テスト等
主体的に学習に取り組む態度	(40%)	提出物・ノート・授儀容態度・小テスト等
合計	100%	

社会【3年3学期】

さちの暮らしと経済	 ・身近な経済的事象から、企業の生産活動・金融の働き・政府の経済的な役割などについて関心を持ち、経済に関する諸課題について意欲的に追究する。 ・身近な事例を基に、消費や労働、生産と金融の仕組みや働きについて理解するとともに、市場経済の基本的な考え方を身につけ、その考え方を活用して経済的事象を捉える。 ・社会資本の整備や社会保障の充実など、国民の生活と福祉の向上のために国や地方公共団体が果たしている役割を理解し、その知識を身につける。 ・国際社会の諸課題やその解決への取り組みについて考察し、過程や結果を適切に表現し、発表や討論などを通して考えを深める。 ・国際社会の現状や諸課題に関するさまざまな資料を収集し、学習に役 	
	結果を適切に表現し、発表や討論などを通して考えを深める。	
校社会と私たち		
良い社会を目指して	・持続可能な社会を実現するために解決すべき社会の課題に関心を持ち、その解決策を意欲的に探究する。・身近な地域の生活や日本の取り組みとの関連性に着目し、地域的な視野と世界的な視点に立って探究を深める。	
 観点別学習状況の評価対象と内容		
・表現等 学習に取り組む態度	(30%) 定期テスト・提出物等 (30%) 定期テスト・提出物等 (40%) 定期テスト(時事問題)・提出物・授業態度等	
+	、 ・表現等	

数学【3年3学期】

単元	到達目標		
7章 三平方の定理	・三平方の定理の意味を理解できる。		
	・三平方の定理を見いだすこと	ができる。	
	・三平方の定理を具体的な場面で活用することができる。		
8章 標本調査	・標本調査の必要性と意味を理	解する。	
	・標本調査の方法や結果を批判	的に考察し表現することができる。	
	・簡単な場合について標本調査を行い、母集団の傾向を推測し判断することができる。		
演習	・演習により、3年間の各単元に	ついて振り返る。	
観点別学習状況の評価対象と内容			
①知識·技能	(34%)	定期テスト・小テスト・レポート等	
②思考·判断·表現等	(33%)	定期テスト・小テスト・レポート等	
③主体的に学習に取り糺	且む態度 (33%)	提出物・レポート・授業態度等	

理科【3年3学期】

分野	単元	到達目標			
宇	目広の目の動き	・星座の星の一日、季節での見え方の違いはなぜ起きるのか理解する。			
	星座の星の動き	・観測地点が変わることでどのように見え方が変わるのか理解する。			
宇宙を観る	月と金星の動きと見	・月の動きと見え方や時刻が変わるのは	は月がどの位置にあるときか説明できる。		
既る	万と並至の勤さと兄 え方	・金星や他の惑星の動きと見え方と時刻が変わるのはそれぞれの惑星がどの位置に			
	<i>23</i>	あるときか説明できる。			
		・様々な自然の中での生物の間には、食物	物連鎖から数量的な関係の保存や生物の濃度が		
		高濃度になっていくことを理解する。			
	自然界のつり合い		生物について理解し、土の中での食物連鎖に		
		ついて説明できるようになる。			
		・炭素や酸素などの物質が自然界の中で	循環していることを理解する。		
		・天然の物質と人工の物質の違いから特徴を理解できる			
	 様々な物質の利用と	・科学技術の発展とそれに伴う利点と問題を理解し、暮らしにどのように反映すればいい			
白	人間	のか考察する。			
然) (IFI)	・人間の活動が原因となっている環境問題をについて科学的に考え、保全することの重要			
自然と人間		性を理解する。			
间		・身近な自然環境の調査を行い、人間の生活が身近な自然環境にどのような影響を与え			
	人間と自然	ているのか考察する。			
		・自然災害が日本や身近なところでどのように発生しているのか、また未然に防ぐためには			
		どうしたらいいのか考察する。 ・今、地球でどのような自然への課題があるのか理解し、どのような対応すればいいのか			
			るのが理解し、とのような対応すればいいのか		
		考察する。 ・持続可能な社会の実現に向けてどのような取り組みができるのか考察する。			
	持続可能な社会を目	「行がが可能な任民の夫がに同りてこのよ」	プな取り組みがしきるのかろ祭りる。		
	指して				
観点	観点別学習状況の評価対象と内容				
①知識·技能		35%	定期テスト・小テスト・ワークシート・提出物		
②思	考·判断·表現	35%	定期テスト・提出物・ワークシート		
③主	体的に学習に取り組む態	態度 30%	定期テスト・レポート課題・ワークシート・授業 への取り組み		

英語【3年3学期】

	四【3十 3 子※1】	
	単元	到達目標
		・仮定法を理解し、それを含む英文を聞いたり読んだりして内容を捉える
英	Lesson 6	ことができる。
語	Imagine to act	・仮定法を理解し、それを含む英文を即興で話したり、正確に書いたりす
		ప .
	LICE Marita 世田の社と書てき	・物や動物視点の詩について、自分の考えなどを整理し、簡単な語句や文
	USE Write 英語の詩を書こう	を用いてまとまりのある文章を書く。
		・議論を進める、議論に参加する表現の意味や働きを理解し、それを含む
	Take Action! Talk6	英文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする。
		・間接疑問と help+A+動詞を理解し、それを含む英文を聞いたり読ん
	Lesson7	だりして内容を捉えることができる。
	For Our Future	・間接疑問と help+A+動詞を理解し、それを含む英文を即興で話した
	For our Future	り、正確に書いたりする。
		り、正確に言いたりもの。
		・卒業記念のビデオメッセージを作るために、20歳の自分に伝えたいメッ
	USE Speak	セージや質問について、自分の考えや気持ちを整理し、簡単な語句や文を
		用いて話す。
		・物語の大まかな流れなどを理解するために、ある若い夫婦について書か
	Reading for Fun2	れた物語を読んで、概要を捉える。
	A Present for You	TO CIVILLE CHIEF CT PILS CIVILE CO
		・バイオメティクスについて理解するために、自然界の生き物からヒントを
	Reading for Fun3	得て作られた商品などについて書かれた説明文を読んで、要点を捉える。
	Learning from Nature	

- ① 知識・技能…定期テスト、小テストなど(35%)
- ② 思考・判断・表現・・・定期テスト、小テストなど(30%)
- ③ 主体的に学習に取り組む態度…コミュニケーション活動、授業態度、提出物、暗唱など(35%)

音楽【3年3学期】

分野	単元	到達目標
歌唱	パートの役割や全体の響きを生 かして、合わせて歌おう	・曲にふさわしい音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌うことができる。・曲想を感じ取り、それにふさわしい音楽表現を創意工夫することができる。
器楽	LESSON3〈高い音、#や♭の付く音〉	・両手の運指やサミングに気を付けながら、吹き方を工夫し、思いや意 図をもって演奏することができる。
創作	歌詞の抑揚を生かして、旋律をつくろう	・歌詞の抑揚を生かした音楽表現を工夫して旋律をつくる学習に主体的に取り組むことができる。 ・言葉の抑揚や音階の特徴を生かした音楽表現をするために、表したいイメージや意図を持って、音を組み合わせて創作することができる。

観点別学習状況の評価対象と内容	
知識・技能(35%)	実技テスト
思考·判断·表現(35%)	実技テスト・創作作品
主体的に学習に取り組む態度(30%)	ワークシート・忘れ物・授業への取り組み

保健体育【3年3学期】

	分野	単元	到達目標
		器械運動(マット)	・腕や壁を使った倒立でバランスをとりながら支持ができる。
			・様々な技に挑戦し、自分の技量にあった演技を構成し、実践することができる
	体	サッカー	・その球技の特性に応じ、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦に応じた技能
	育		で仲間と連携したゲームが展開できるようにする。
保		各種スポーツ(球技)	・その球技の特性に応じ、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦に応じた技能
健			で仲間と連携したゲームが展開できるようにする。
体	保	体育理論	・スポーツの文化的意義や役割について理解する。
育	健		
-	t		

観点別学習状況の評価対象と内容

- ①知識・技能(50%)・・・技能テスト、ワーク提出、レポート提出
- ②思考・判断・表現(25%)・・・授業の振り返り、実技テスト、 授業の様子、レポート考察
- ③主体的に学習に取り組む態度(25%)・・・出席状況、見学、忘れ物、授業態度等

計100%

	分野	単元	到達目標
		バスケットボール	・その球技の特性に応じ、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、
			作戦に応じた技能で仲間と連携したゲームが展開できるように
			する。
	体	ダンス	・身体をしっかり動かし、リズムに合わせて、一つ一つの動きを表現
	育		できるようにする。
			・クラスの班で協力して1つの作品に仕上げることができる。
保		各種スポーツ(球技)	・その球技の特性に応じ、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦
健			に応じた技能で仲間と連携したゲームが展開できるようにする。
体	保	体育理論	・スポーツの文化的意義や役割について理解する。
育	健		
,	組占則学羽保辺の郵便があり内容		

女|観点別学習状況の評価対象と内容

- ①知識·技能(50%)
- ・・・技能テスト、ワーク、レポート
- ②思考·判断·表現(25%)
- ・・・・授業の振り返り、実技テスト、授業の様子、レポート
- ③主体的に学習に取り組む態度(25%)
- ・・・出席状況、見学、忘れ物、授業態度等

計100%

美術【3年3学期】

关师[3年3年2]					
分野	単元	到達目標			
	暮らしを心地よくする インテリア (マグカップのデザイン)	心地よい美しさと生活を楽しめるデザインの構想を練る。			
デザイン		材料や用具の生かし方を考え、創意工夫して表現する。			
		作者の意図や表現の工夫を感じ取り、作品のよさを味わう。			
	記憶に残るシンボルマーク (篆刻)	文字の形などをもとに、印象に残るデザインを考える。			
絵画		意図に応じて、材料や構成の効果を生かして表現する。			
		文字やマークの形や色から受ける印象について話し合う。			
76.44	発想課題	様々な課題に対し多角的視点をもって、自分らしい造形的見方・考 え方で発想・想像することができる			
発想		皆と意見や考え方を共有することで見方・考えを深めることができる			
観点別学習状況の評価対象と内容					
知識·技能	(30%)	作品			
思考力·判断	力·表現力 (40%)	計画表、鑑賞シート、自己評価表			
主体的に取り	組む態度 (30%)	授業態度(提出物)、Fシート			

技術家庭【3年3学期】

分野	単元	到達目標
(技術分野) 動力の利用	動力伝達の仕組み	動力を効率よく伝える仕組みを知り、特徴を知る
エネルギー変換の	機器の保守点検	機器の手入れや点検について知り、応報を身に着ける
実際	製作	エネルギー変換を利用した製作品を製作する
(家庭分野) 家族・家庭と子ども の成長	これからのわたしと家族	・家族関係をよりよくする方法を考える。 ・これからの自分と家族のかかわりや自分の生活に関心をも つ。
食生活と自立	調理をしよう	・調理の基本を知り、安全に実習することができる。 ・おやつ作りを通して、乳幼児に適するおやつの特徴について知 り、説明することができる。

点別学習状況の評価対象と内容	学習状況の評価対象と内容			
以下の①②③を <u>均等の割合</u> で評価します	·の①②③を <u>均等の割合</u> で評価します			
①知識·技能	提出物・定期テスト・実習製作品			
②思考·判断·表現	定期テスト・提出物・実習製作品			
③主体的に学習に取り組む態度	提出物·授業態度			